

病院ボランティア 「四つ葉のクローバーの会」のページ

渡り廊下から見た桜

ボランティア 早川 庄栄

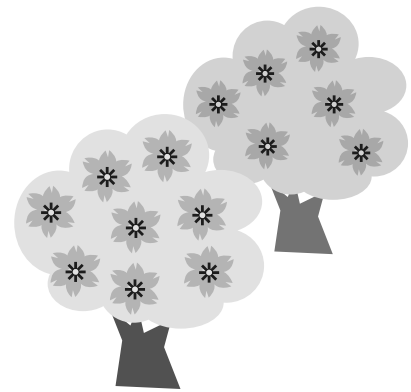
私は幼い頃から千年の桜が毎年美しく咲く思い出があります。まだチンチンと市電が走っていた頃のことです。

今、その地に私達の病院が来春の全館完成を目指し工事が進められています。すでに昨年秋には一部の外来と入院病棟が新館に移り利用されています。現在まだ多くの外来診療は旧館に残っており、新館とは長い回廊のような通路で結ばれています。丁度それは高度先進医療への架け橋のように思えてなりません。又その通路は人の希望と不安が行かうところでもあります。これから入院される方でしょうか、不安気な顔で看護師に案内されてゆく姿を見ると心が痛みます。「きっと良くなります、元気出して下さい。」と思わずにはいられません。

一方、今日で退院される元気な足取を見るとホット安心します。通路の窓越しに見る桜は人の心をどうみているのでしょうか、目いっぱい咲き誇っていました。

ボランティアとして出来る事は極めて小さな部分ですが、少しでも役立てばと受付のお手伝い図書や車椅子の整理などを行っています。

名実ともに地域を代表する病院の完成を心待ちにしています。



ボランティアさんを募集しています

初めて病院を訪れたとき、戸惑ったことはありませんか？
あなたの温かい心を生かしてみませんか？
みなさんぜひご参加ください。



● お問い合わせ先 ●

中部労災病院 庶務課 ☎052-652-5511(代)まで